



生涯学習だより

安中市青少年センターの紹介 主に次の4つの活動をしています。

①児童下校時の指導

62人の補導員が活動しています。年間5回、市内12小学校の下校時刻に合わせて1校あたり3～9人が、校門に立って「さようなら」「気をつけて帰ってね」と声かけしたり、一緒に歩いて下校したりしています。



②夜間パトロール

年間20回の夜間パトロールを行っています。46人の補導員が活動しています。今年度は、パトロール車の中の3密を避けるために、車1台あたり3～4人にして、2台が東コースと西コースに分かれ、午後7時から9時までパトロールをします。公園、神社、駅、学校、大型店、コンビニエンスストア、ゲームコーナーなどを見回ります。

例年12月に行っていた、安中駅と松井田駅での青少年健全育成啓発ティッシュ配りは、今年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、市内3つの高校の高校生全員に、新しく作成した相談カード(右下)を付けて教室で配る方法に変更しました。



③広報車パトロール

児童の下校時に、青色パトロールカーで、メッセージを流しながらパトロールを行っています。

④相談

青少年のことで、電話相談・面接相談・メール相談を実施しています。

※相談内容は、秘密厳守します。



相談カード(2つ折り)

中側には、24時間相談・チャット相談などの機能も掲載されています

令和元年度人権作品集「おもいやり」から
5/28/2019

安中市立松井田北中学校
一年 萩原 加奈

(11月号つづき)

最近では、インターネットを使ったネットいじめというものが、顔が見えない状態なので、より危険になっています。相手の前では言えないようなことでも、ネットを使うと簡単に言ってしまうので、もつと追い込まれやすくなってしまいます。

このままだと、いじめはどんどん増えて今日よりもっと深刻な問題になっていくと思います。なので、少しでも阻止するために、私たちがまず何をすべきか、考えました。

一つ目は認め合うことです。お互いの良いところ、お互いの悪いところ、お互いの個性などを理解し、認めることで、悪口、言い争いなどは減ると思います。

二つ目は落ち着くことです。ついカッとなつて言ってしまった、カッとなつて嫌がらせをした、となつても、「つい」で済む問題じゃなくなってしまう。一回深呼吸をして、適切な判断をすることが大切だと思います。

三つ目は考えることです。ネットで何も考えずに発した言葉が取り返しのつかないことになってしまうと手遅れなので、一回考えて、本当にそれでいいか考えると、減っていくと思います。

私はいじめを減らすためにこの三つを心がけたいと思います。いきなり絶対それを守る、というのは難しいですが、しっかりと心がけてくせになるくらい頑張りたいです。

将来、いじめが完全になくなるというのは遠い目標ですが、減らすことは絶対できると思います。クラスから北中へ、北中から町へ、町から市へ、市から県へどんどん広まって、少しでもいじめが減るように努めていきたいです。
(おわり)